

# Anti human TR4 mouse monoclonal antibody

TR4: Tasticular receptor 4

製品コード PP-H0107B-00

Clone No. H0107B

Lot. A-1

濃度 1mg/mL

容量 100 $\mu$ L

Ig class G2a

Nomenclature NR2C2

Genebank L27586

**由来** ヒトTR4(23-52 aa)のBaculovirus発現物を免疫したBALB/cマウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞(NS-1)を融合して得たハイブリドーマを、BALB/cマウスに接種して得られた腹水。

**特異性** ヒトTR4と特異的に反応する。マウスおよびラットTR4と交差反応する。

**精製法** 硫酸塩析法

**溶媒** 生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN<sub>3</sub>添加)

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

**Application** 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

**Western Blot** 可  
参考使用濃度 2  $\mu$ g/mL

**非還元 Western Blot** 未検討  
参考使用濃度 -

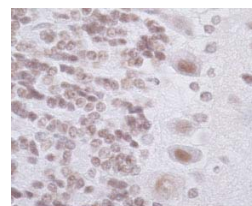
**ELISA** 可  
参考使用濃度 0.1  $\mu$ g/mL (A450=0.2)

**免疫沈降** 可  
参考使用濃度 適宜調製してください

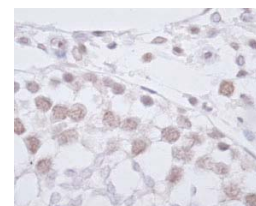
**Supershift Assay** 未検討  
参考使用濃度 -

**クロマチン免疫沈降** 未検討  
参考使用濃度 -

**免疫染色** 可  
参考使用濃度 10  $\mu$ g/mL



ラット 小脳  
ブルキンエ細胞・顆粒細胞



ラット 精巣  
精母細胞・精娘細胞

**保存方法** 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8 $^{\circ}$ Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20 $^{\circ}$ C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

**参考文献**

**備考** 溶媒に含まれるNaN<sub>3</sub>は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

MADE IN JAPAN

Aug 29, 2006

**【販売元】**

フナコシ株式会社  
〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目9-7  
TEL : 03(5684)1620 FAX : 03(5684)1775  
<http://www.funakoshi.co.jp>

**【製造】**

株式会社 ペルセウスプロテオミクス  
〒153-0041 東京都目黒区駒場4-7-6  
<http://www.ppmx.com>

